



令和7年度

学卒者等人材確保説明会

(2) 新規学校卒業者の求職状況について
(福島新卒応援ハローワーク)

ハローワーク福島 職業相談第二部門

令和8年3月新規高等学校卒業予定者の求職動向①

(令和7年4月現在) **ハローワーク福島管内**

紹介就職希望者（公務員、縁故就職希望を除く）は、
卒業予定者（3,285人）全体の

18.9% (621人)

うち県内就職希望者の割合

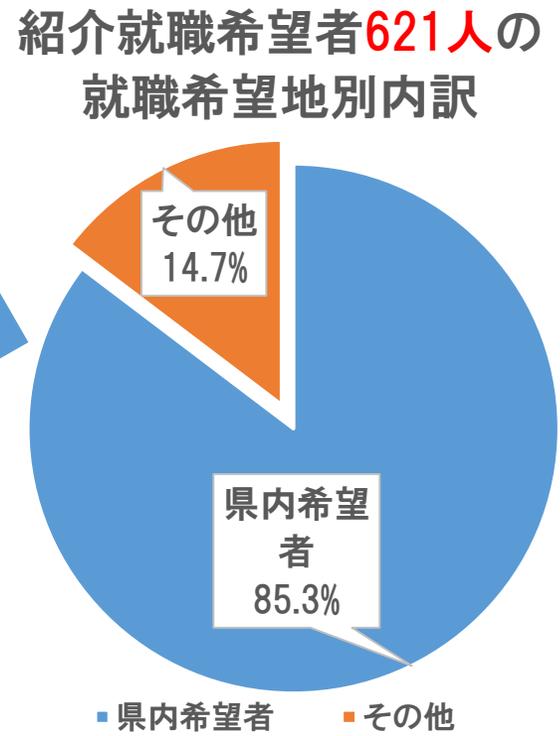
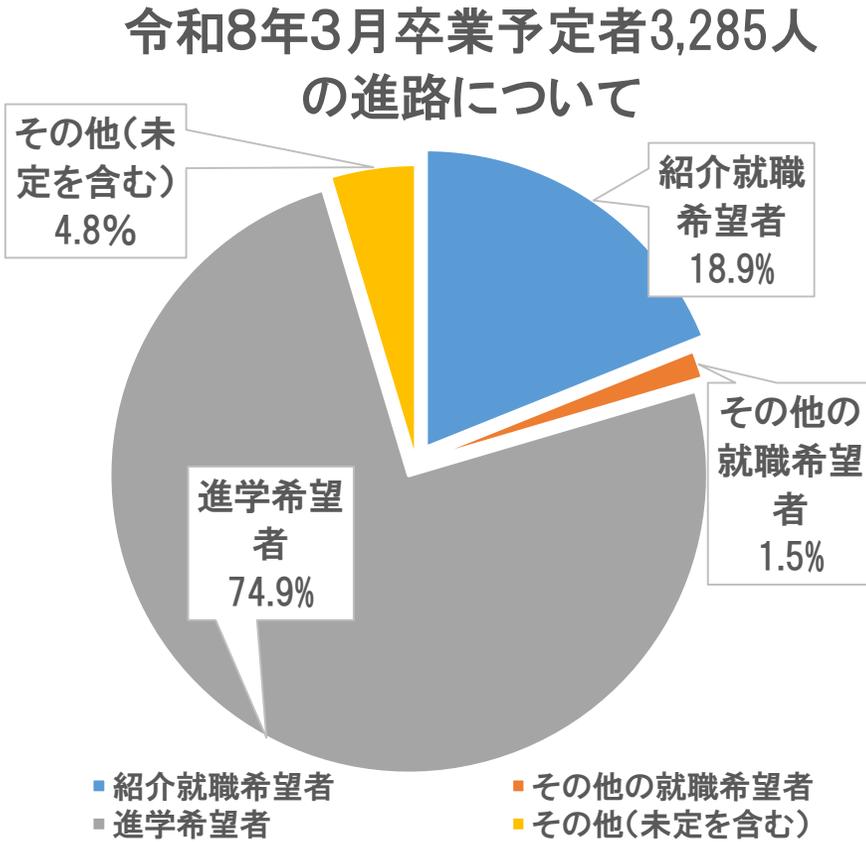
85.3% (530人)

※昨年度

卒業予定者	3,371人 (▲86人)
紹介就職希望者	19.8% 666人 (▲45人)
うち県内就職希望者	86.9% 579人 (▲49人)

令和8年3月新規高等学校卒業予定者の求職動向②

(令和7年4月現在) **ハローワーク福島管内**



※ **紹介就職希望者** = 学校又はハローワークの紹介による就職希望者
その他の就職希望者 = 縁故就職、公務員への応募、自営等の就職を希望する者

令和8年3月新規高等学校卒業予定者の求職動向③ (令和7年4月現在) **ハローワーク福島管内**

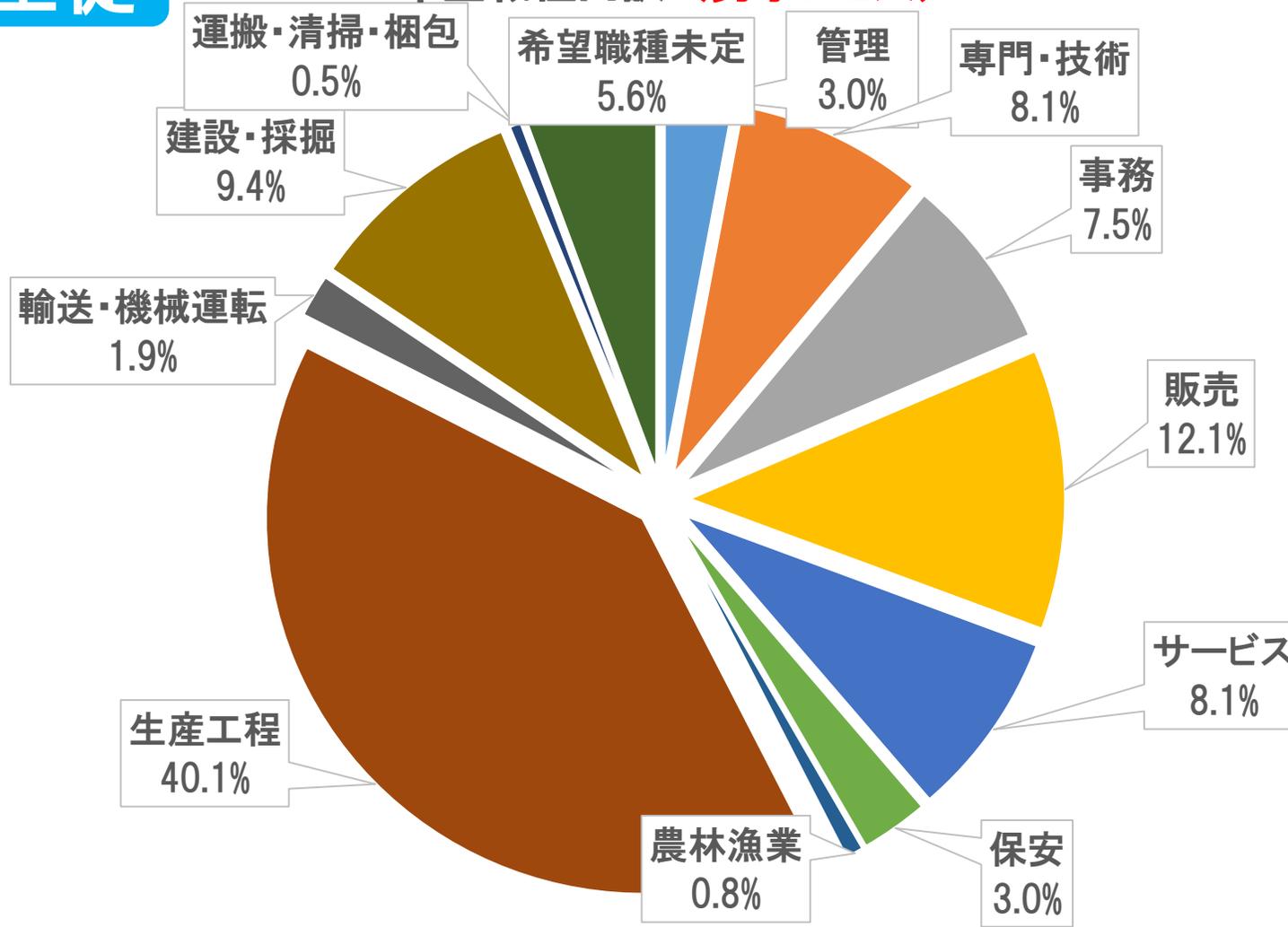
男子生徒 (372人)が希望する職種の内訳は？

- | | | |
|----|----------|--------------|
| 1位 | 生産工程の職業 | (149人、40.1%) |
| 2位 | 販売の職業 | (45人、12.1%) |
| 3位 | 建設・採掘の職業 | (35人、9.4%) |

令和8年3月新規高等学校卒業予定者の求職動向④ (令和7年4月現在) **ハローワーク福島管内**

男子生徒

希望職種内訳 (男子372人)



令和8年3月新規高等学校卒業予定者の求職動向⑤

(令和7年4月現在) **ハローワーク福島管内**

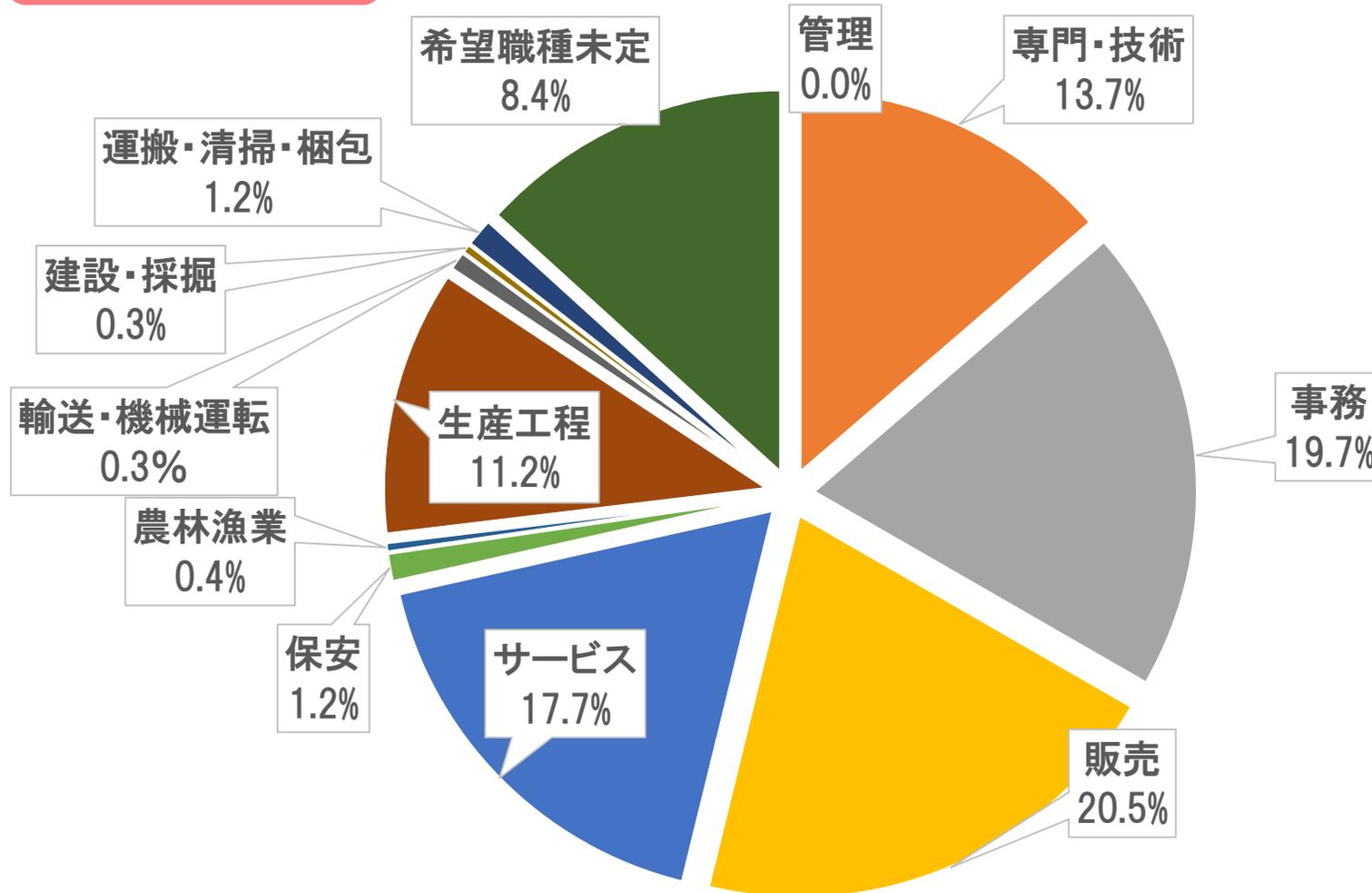
女子生徒 (249人)が希望する職種の内訳は？

- | | | |
|----|---------|-------------|
| 1位 | 販売の職業 | (51人、19.5%) |
| 2位 | 事務の職業 | (49人、18.8%) |
| 3位 | サービスの職業 | (44人、16.9%) |

令和8年3月新規高等学校卒業予定者の求職動向⑥ (令和7年4月現在) **ハローワーク福島管内**

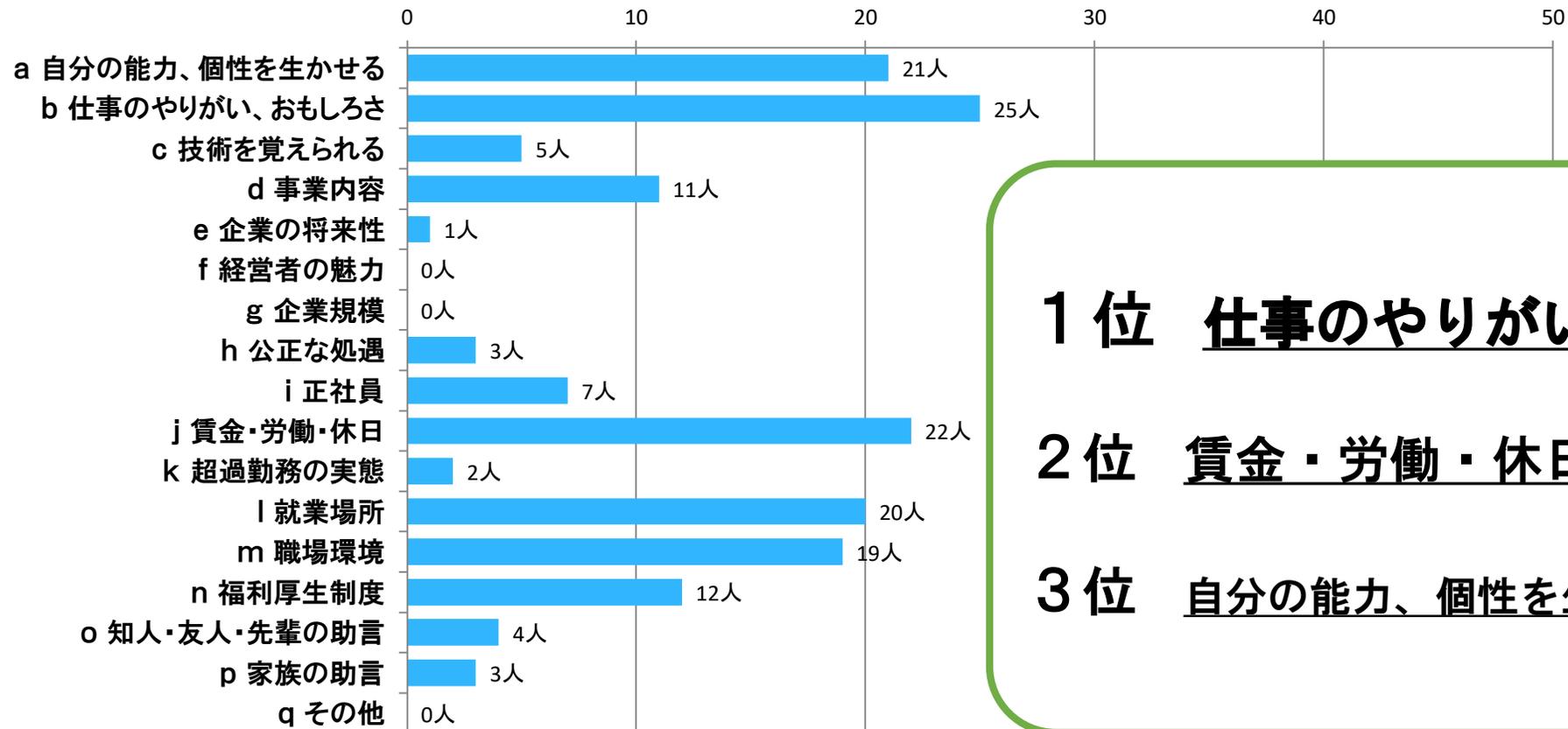
女子生徒

希望職種内訳(女子249人)



令和6年度 新規高卒者就職面接会（福島会場） 生徒アンケートより ◇参加学生数45人 回答率100%

◆応募するにあたり、何を重視しますか？（複数回答可）



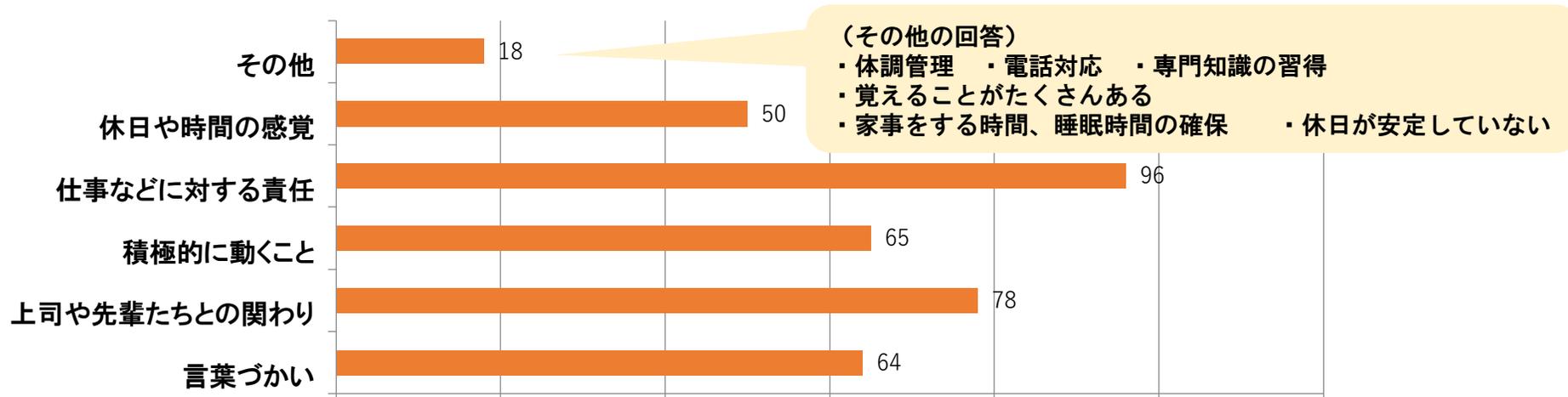
1位 仕事のやりがい、おもしろさ

2位 賃金・労働・休日

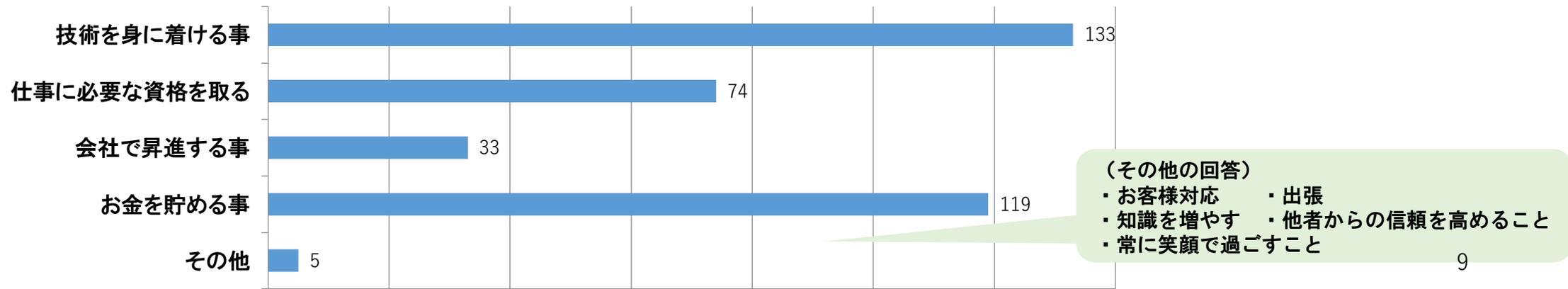
3位 自分の能力、個性を生かせる

令和6年度 ハローワーク福島管内 新卒者職場定着支援 就業者アンケートより（回答 194名）

◆就職して大変だと感じること（複数回答可）

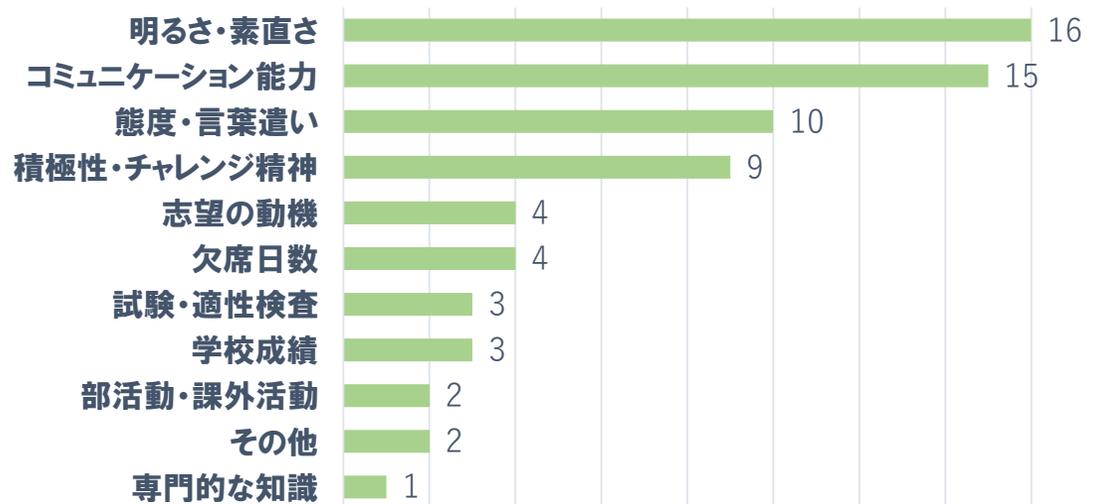


◆今後職場でやってみたいこと（複数回答可）

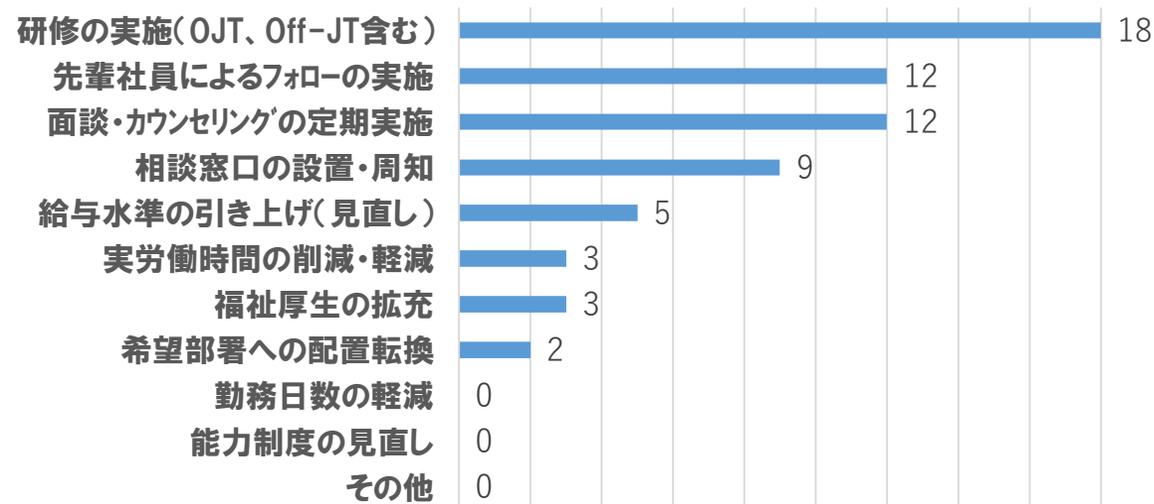


令和6年度 ハローワーク福島管内 新卒者職場定着支援 事業所アンケートより（回答 24社）

◆新規学卒者採用にあたって重視すること （選択制・複数回答可）



◆職場定着を目的とした取り組み （選択制・複数回答可）



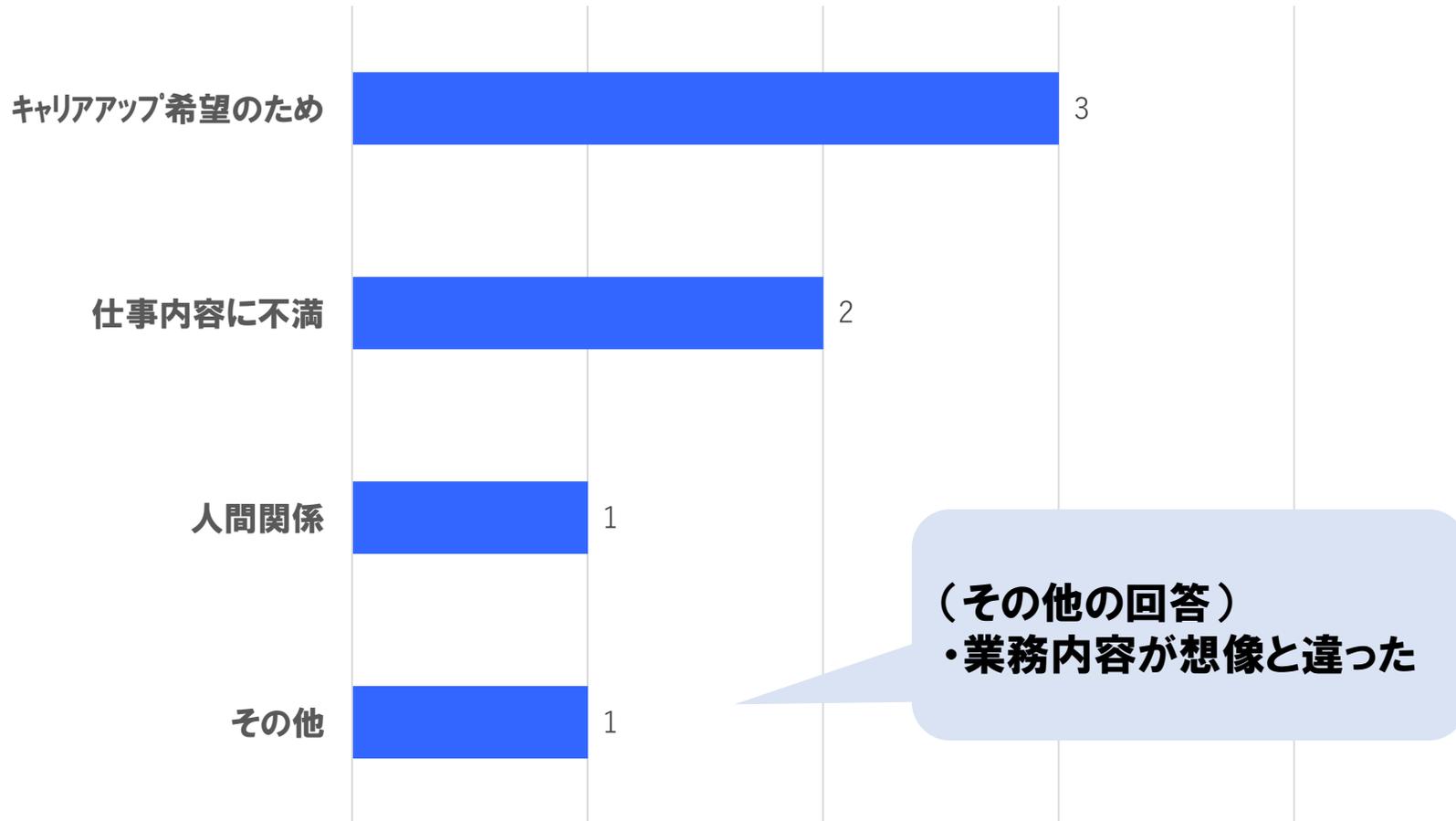
・一般の求人では「経験・スキル」「人柄」「やる気」などが採用理由に挙げられるのに比べ、新卒者採用に当たっては「明るさ・素直さ」「コミュニケーション能力」を重視するとの回答が多数。

・ほとんどの事業所で研修を実施している。
・年の近い先輩社員からのフォローや定期的な面談を実施している事業所も半数以上となった。

令和6年度 ハローワーク福島管内 新卒者職場定着支援 事業所アンケートより

(回答24社のうち離職があったと回答した事業所7社)

◆新規採用者の退職理由



◆窓口相談での新卒者の 早期退職理由

- ・仕事内容が難しすぎた、合わなかった
- ・職場の雰囲気が悪い
- ・研修内容が古い(大声での挨拶など)、将来性を感じない
- ・タバコの本煙ができていない(移動中の車内など)
- ・休日が少ない、土日休みの友達と休日が合わない
- ・(2年目以降)昇給が少ない、賞与がない
- ・(2年目以降)他県への転勤を命じられた

令和6年度 ハローワーク福島管内 新卒者職場定着支援 就業者アンケートより（目立ったコメント）

責任感

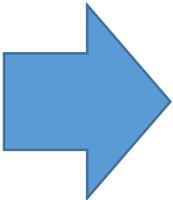
「学生の時と違い、自分の行動に責任が求められるので、そのことを意識して頑張っています。」
「問題を起こすと個人の責任ではなく会社の責任になるので、高校生のうちから責任感を持って行動したほうが良いと思います。」
「社会人になると自分の行動一つ一つに責任が発生し大変なこともあるが、やりがいや達成感を味わえる。」

コミュニケーション (人間関係)

「困ったり迷ったりしたら先輩へ相談したり、話しやすい人にまず打ち明けて、一人で抱え込まずに周りの人を頼って乗り越える。」
「人間関係・コミュニケーションは大事。挨拶と笑顔で相談しやすい環境を作ることができる。」
「あいさつや言葉づかい・コミュニケーションを積極的にとることが大切だと思う。」

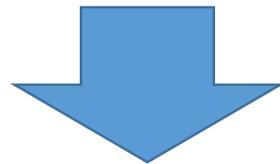
時間やお金の使い方

「時間の使い方は日々大事だと感じている。」
「休みの大切さがよく分かったので、大切に時間を使う。」
「体調管理、お金の使い方は計画的に。お金の自由はあっても時間の自由がなくなってくることを実感」
「学生の時より時間の縛りは増えたが、自由(精神的・金銭的)が増えた」

- 
- ・社会人としての**責任感**の変化は多くの新卒者が実感している。プレッシャーと感じるか、やりがいと感じるかは様々。
 - ・**人間関係**に不安や悩みを感じているケースがみられる。**相談できる環境**が必要。
 - ・生活リズムや環境、経済的な変化に対する声も多数。**ライフワークのバランス**を重視。

新規学校卒業者の求職状況について（まとめ）

- ・福島管内、県内の学生数は少子化により減少傾向が続く。
 - 求職市場においては学生優位。
 - しかし新卒者の3年以内離職率は依然として3割超。
(R3.3卒高卒離職率 38.4% 全国、36.8% 福島県)
- ・高卒就職希望者は依然として地元志向が強い。(約85%)
- ・高卒者男女ともに販売の希望者が多いが、生産工程、サービス、事務の希望者の割合も高い。



若年の働き手が今後さらに貴重になっていくのは、データからも明らかです。
新たな環境に不安を抱える新卒者を長期的な視点で見守り、企業・業界全体で育てる環境づくりにご協力をお願いいたします。